



2026年9月30日

ひかり認定こども園 ゆづり保育園

高い空に清々しい風が心地よい季節になりました。澄んだ空気をいっぱい吸い込んで、小さな秋を見つけながら戸外では思いきり体を動かしていきたいと思います。

スポーツの秋！今月は「運動あそび会」を予定しています。ゆづりならではの和やかな雰囲気の中で、親子で体を動かしながら楽しい時間を過ごしていただけるよう、準備をしてお持ちしています。また、普段あまり接することの少ない、同じ園に通うご家族同士の交流も楽しんでいただきたいと、そんなプログラムも用意していますので、是非ご参加をよろしくお願いいたします。

これから秋冬にかけて感染症など体調を崩すお子さんが増える時期、子どもにとって体調不良時に集団の中にいることは、とても負担の大きいことです。体調の変化には十分にご留意いただき、体調が優れないときは、長引くことのないようにご家庭でゆっくり体を休めていただくようお願いいたします。また、集団の場ですので、他のお子さんへの影響にもご配慮いただきますよう併せてお願いいたします。

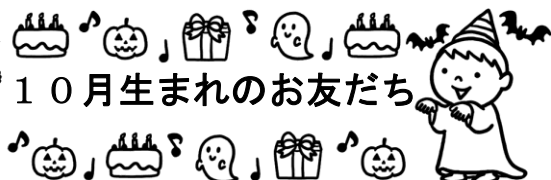


10月の予定



1日(木)2日(金) 身体測定
3日(土) 運動あそび会
8日(木) 避難訓練
21日(水) お誕生会

日程変更の際は事前にお知らせいたします。



10月生まれのお友だち

お誕生日おめでとう！



衣替えについて



衣替えの季節になりました。ロッカーの着替え等の確認をお願いいたします。涼しいと感じる日も保育室内は汗ばむことが多いです。しばらくは半袖・長袖両方のご用意をお願いいたします。全ての持ち物にはお名前を見やすい位置に大きくはっきりとお書きください。

フード付は事故に繋がりますので、ご遠慮ください。

クラスより

0.1歳ひよこ・うさぎ組

0歳

初めての園生活に泣いていた9月に入園されたお子さんも、日に日に園の環境に慣れ、少しずつ安心して過ごせるようになってきました。つかまり立ちをしたり、目が合うとニコッと笑顔を見せてくれたりと一人ひとりの成長を感じる場面が増えています。うさぎ組やりす組のお兄さんお姉さんとの関わりも嬉しいようで、名前を呼ぶと喜ぶ姿が見られます。生活の歌や体操の音楽も、リズムに合わせて手を叩いたり体を揺らして楽しんでいます。運動あそび会ではお子さんの園での成長も感じていただきたいと思います。

1歳

最近お友だちに興味が出てきたうさぎ組さん。お友だちの動きや言葉を真似して笑い合う姿はとても微笑ましいです。一方でお友だちの遊びが気になって玩具の取り合いになったり、距離感が近くなりすぎることトラブルも増えてきています。お互いの気持ちを代弁しながら関わり方を学ぶことができるように声をかけています。生活面では自分でやってみたいという気持ちが芽生えてきたようで、とても成長を感じています。できた時に褒められるととても嬉しそうにしている、自信に繋がっているようです。少しずつできることが増えている中でこれからの成長が楽しみです。子どもたちがやってみようとする姿を見守りつつ、必要な援助をしながら自分でできた喜びを感じられるようにしていきたいと思っています。



2歳りす組

雨続きで室内で遊ぶことが多かった9月。新聞を広げその上にボールや風船を乗せ2人組で力を合わせ「運搬ゲーム」をしたり、2チームに分かれてネットにボールを入れる「ボール入れ競争」を行いました。初めてルールのある遊びを取り入れてみたのですが、ルールをよく理解し、楽しく遊ぶ子どもたちの姿に成長を感じました。子どもたちの成長に伴い、楽しめる遊びも増えてきたので、色々な活動を取り入れていきたいと思っています。遊び以外の面でも、ひよこ・うさぎ組の小さなお友だちのお世話をする姿が見られたり、エプロンを配るお手伝いをしてくれたり、また1つお兄さんお姉さんになりました。お友だち同士、共に刺激し合いながら成長していけるよう見守ってきたいと思います。これからの過ごしやすい季節は、戸外の空気を感じながらたくさん体を動かしたいと思います。



下記の日程で保育実習生が保育に入ります。どうぞよろしくお願いいたします。

9月28日(月)～10月9日(金)

10月の歌



こおろぎ
とけいのうた



コンコンクシンのうた



0、1、2歳頃はまだ話すこと自体ができなかったり、語彙が少ないため、言葉で自分の思いを伝えることができず“噛みつき”“ひっかき”という行動で表そうとします。



噛みつきが起きたときの子どもの思いを読み取ると…



○歯の生え始めでかゆい。ムズムズする。

○目の前に出てきた手や顔に「なんだろう…?」「口に入れて感触を試してみよう…」という興味。

○他の子の持っているものが「ほしい」「いいな」という思い。

○遊んでいた玩具を触られそうになり「ぼくの・私の!」という感情。

○嫌なことがあったり、上手くいかないもどかしさ。

○「好き!」「一緒に遊びたい!」のに、受け入れてもらえなかったり相手への興味の示し方や関わり方が分からない。



○心の中にある思いを上手に言葉で伝えられない苛立ち。

○何かの原因で「寂しい」「不安」「環境の変化」などで、不安定な精神状態にある。



園では子どもたちにこんな風に接しています



この頃の噛みつき・ひっかきなどの行為は、相手を傷つけようという思いからではなく、成長過程の中で、自分の気持ちを言葉で表現できずに、思いが行為となってしまうことが多く、個人差はありますが、言葉の発達とともに次第に少なくなっていくます。

園ではどんなに小さなお子さんにも、一つ一つ言葉かけをしながら接し、「○○したかったんだね。」「貸してだね。」というように子どもの気持ちを汲み取り、代弁し、保育者に思いを分かってもらい、安心や満足感を得ながらもその発達時期にあったルールを知る。また、関りの中で、喃語、簡単な言葉、ジェスチャーなどによって相手に伝わることの喜びや楽しさを感じることができるよう促しています。



未然に防げるように留意しています



噛みつきやひっかきの行為はいつ起こるかわかりません。常に子どもたちの様子を見ながら留意してはいますが、時には間に合わないこともあります。子どもたちの気持ちにしっかり寄り添い、出来る限り未然に防げるように配慮していきたいと思っています。



“噛みつき”“ひっかき”等、怪我が起きてしまったときの対応



怪我をしてしまったお子さんには、まず傷口を洗い流し、次に冷却します。怪我の状態によっては消毒などを行います。

園では、お友だちを傷つけてしまう行為があったときに、怪我をしてしまったお子さんについては、軽傷であればお迎えの際にお伝えをしています。重症ということは過去にありませんが、その際は直ちにご連絡いたします。また、怪我をさせてしまったお子さんについてもお伝えをいたします。

“噛みつき”“ひっかき”等が頻繁に起こったり、普段とは様子が違うという時には、園での状況をお伝えするに加えて、ご家庭での様子をお聞きすることがあります。ご家庭で何か環境の変化があったりすると、お子さんが不安定な様子を見せることがありますので、小さなことでもお聞かせください。また、怪我防止のため爪はこまめに切り、切る際は角が鋭くならないようご配慮をお願いいたします。



子どもの本当の気持ちを受け止めて!



乳幼児にとって、ご家庭で親御さんに甘えながらリラックスした中で穏やかに過ごす姿と、絶対的な信頼で繋がった親元を離れて、長時間集団の中で過ごす園での姿とでは異なっており、当たり前です。園では幼いながらも緊張や不安、他者との関りの中での葛藤を少なからず抱えて生活をしています。このような時期にお子さんをお預かりするにあたって保護者の方との連携は欠くことができません。お子さんについての情報を共有しながら、小さな心の思いに気づき、受け止め、健やかな育ちをご家庭と園双方で見守っていききたいと思いますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。